

2013 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 6 回議事録

日 時 : 2014 年 2 月 24 日(月)10 時 30 分～12 時 30 分
場 所 : 愛知大学 名古屋キャンパス 講義棟
出席者 : 太田(名古屋芸術)、伏見(名古屋経済)、小木曾(愛知)、八鳥(名古屋外国語)、
広田(中部)、木村(愛知学泉)、田中(金城学院)、天野(椙山女学園)、石田(南山)、
水谷(東海学園)、松原(中部学院)、柴野(名古屋商科)、小林(愛知医科)、
中田・坂東・山田(名古屋学院)、(中村(名古屋芸術:主幹事校 事務担当))
欠席 : 立野(名古屋芸術) 敬称略

議事に先立ち、中田委員長より、松原委員の 3 月末での退任と、後任の坂東委員について発表と紹介があった。また、2014 年度のスケジュールの提示があり、確認を行った。

議題

1. 2014 年度研究会について

八鳥委員より、資料に基づき説明があった。「学修支援のために図書館員ができること」というテーマで 2 回にわたり実施し、第 1 回は講演、第 2 回は事例発表を中心とした内容とする。第 1 回研究会については、日程を 7 月 2 日(水)、会場を名古屋外国語大学・名古屋学芸大学とした。講演者も決定、2 月中に原案を提出してもらう予定である。

また、11 月開催予定の第 2 回では、事例発表を 4～5 本用意したいと考えているので、よい事例をご存知の方はご紹介願いたいとのことであった。

2. 2014 年度実務担当者研修会について

柴野委員より、資料に基づき説明があった。実施要領(案)を確認しながら、各プログラムの内容をより明確にした。また、下記の検討事項について協議した。

①事前課題 (1) 共通フォーマットワークシート (全グループ)

- ・学習支援に関する自館の現状分析
- ・グループワーキング選択理由・背景
- ・期待する効果

7 月中に回収し、参加予定者、講師、担当委員に事前配布して共有する。

(2) 各グループワーク個別課題

②事後課題 事後レポートの提出

感想・進捗状況等自由に書いてもらう。(10 月中旬回収)

③事後研修 以降の研究会にてポスターセッションや口頭発表等の方法で報告を行う。

④スケジュール

2 日目最後の全体会の内容は、研修会の総括として、各講師のコメントと質疑応答の時間とする。

⑤その他

- ・研修会担当者においてワークシートのフォーマットおよび研修会実施要領(修正版)

の案を作成、メーリングリストにて回覧する。

- ・各グループワーキング担当者はワークの内容案内を作成し、4月の運営委員会で提示する。
- ・グループワークの際に必要な機材やPCの設定・ソフトウェア、教室のタイプ等の要望がある場合は、早急に会場校（名古屋学院大学）に連絡する。

3. 2014年度事業計画・予算案について

中田委員長より資料に基づき説明があった。

事業計画案は、これまで進めてきた内容で作成、本日の委員会でも大きな変更点はなく、確認後承認した。また、予算案の収入の部について、前回の運営委員会で提案した実務担当者研修会の補助金が12月13日の常任幹事会において承認され、10万円の増額となっている。協議事項として、研究会時の意見交換会参加費が一人3,000円では厳しいという意見が出され検討した結果、1,000円の増額を了承し、予算案を修正することとした。

上記の内容で3月14日の常任幹事会に提出する。

4. 館灯について

太田委員より報告があった。現在校正中で、印刷部数は名簿確認時の希望調査を元に、キャンパスごとの1館1部送付を原則とした上で200部とした。また、表紙の色は主幹事校で決定する。

中田委員長からの補足として、今回掲載予定の投稿論文執筆者には、理事校より原稿料を支払う旨説明があった。

5. ウェブサイトについて

①石田委員より、前回以降の作業と、年度末更新の変更および新規カテゴリの担当者についてあらためて報告があった。

- ・年度末の更新作業は4月1日午後実施する予定である。
- ・CiNiiへの『館灯』のデータ入力は、5号以降の分は終了しており、1~4号についても2014年3月入力予定である。内容に気づいた点などあれば連絡して欲しい。

②中田委員長より『館灯』電子化についての報告があった。

2014年度予算で『館灯』電子化をあげる予定で話を進めていたが、現行のホームページの問題等もあり、2014年度での実施は見送り2015年度以降に引き継ぐこととする。

次回、2014年度第1回運営委員会は、2014年4月10日(木)14時から、東海学園大学三好キャンパスにて開催する。

以上

記録者：山田